

平成26年3月

10年前、5年前と気になる数字を比べてみました!



令和2年3月

令和7年3月

災害の少ない町・福岡空港と博多駅に 近い・空気がきれい・緑の多さ・地価の安さ 等々あと10年は増えると思います。 これからは、須恵川の活用を含め、水の おいしさを究めていけばさらに魅力あ る町になっていくと思われます。 長札区 伊藤 興和区長 世界一住み良い町への挑戦を (区長会 会長) 進めていこうではありませんか。

町の事業費(決算額) 128億7437万円 75億8809万円 91億6660万円 町民一人あたり約43万円の行政サービスを提供Lています! 平成26年度 令和元年度 令和6年度

事業費は増加傾向で、この動きに近いグラフは、このペー ジでは人口の推移になります。人口増とともに支出が増え ているのが見て取れます。性質別でみると、全体的にほぼ 同じバランスで増加しています。その中でこの10年で人件 費は15.7%から11.6%に減。扶助費は 20.7%から28.1%に増加しました。義 務的経費が多いものの、須恵町の財政

ただし下のグラフにあるよう に、町税の伸びはゆるやかなので、 やりくりは大変です。

は健全の範囲内にあります。

決算審査特別委員会 田ノ上委員長



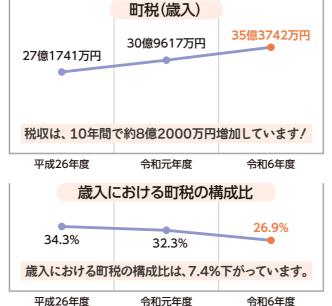
令和元年度 平成26年度

用語 がる 地方債とは 地方公共団体が財政運営に必要な資金を、一会計 年度を超えて借入れることで負担する債務です。

これは、道路や学校などの公共施設整備に要する費用を、 利用する将来世代とも分担する「世代間の負 担の公平性」を図る目的があります。

を 基金とは

特定目的のために財産を維持し、資金 を積み立て、又は定額の資金を運用する ために、自治体が条例の定めに基づい て任意に設置した資金又は財産です。



税収入の増加傾向は須恵町の人口増などが影響しており、 また、納税相談などの対応により、収納率向上による税収 の増加なども要因と言えます。

税収増とはいえ今後も、人件費・民生費、老朽 化する公共施設やインフラ整備、さらには物価 高騰対策など、財政需要の増加が見込まれます。 時代の変化により生じる様々な町民ニーズを 的確に把握し、優先順位を見極めながら、 限られた財源の適切な活用に努めるこ とが大事です。

決算審査特別委員会 男澤副委員長

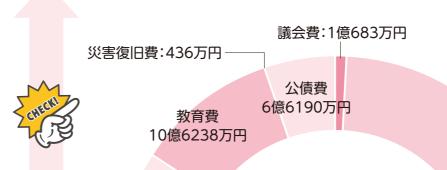
『どう使った?』

令和6年度 一般会計決算を認定

9月5日から22日までの18日間で行われ、審議の結果、提案された議案 17件は、原案のとおり認定・可決・同意しました。



その他:3億9794万円 8億5131万円 地方消費税交付金 7億762万円 35億3742万円 歳入総額 自主財源 地方交付税 131億 24億80万円 5083万円 寄附金:7億4515万円 依存財源 繰越金:2億8820万円 諸収入:1億7191万円 国·県支出金 その他:6億6714万円 33億8333万円



総務費 21億3449万円 参考: 令和5年度決算額

にかかるお金です。

住民全体の生活や行政運営を支える

ための、全般的な事務や管理、企画

19億9738万円

目的別 消防費:8億4098万円 参考:令和5年度決算額 歳出総額

土木費 128億7437万円 11億1744万円

衛生費

11億4084万円

3億5980万円

商工費:2426万円

農林水産業費

1億4629万円

参考:令和5年度決算額 118億7189万円

民生費 56億3455万円

参考:令和5年度決算額 48億7068万円

医療や介護、福祉、子育てなどに つかうお金です。

※すべてのページにおいて、金額は1万円未満を切捨てていますので、金額が合わない場合があります。

令和6年度